# S−KYT研修を実施して

長野県千曲市消防団

## 1．はじめに

千曲市は、長野県北信地域の南東部に位置し、西は冠着山（かむりきやま）、東は鏡台山をはじめとする山地に囲まれています。そのほぼ中央を、東南から北東に大きく曲がりながら千曲川が流れており、これが市名の由来となっています。千曲川をはさんで両岸には平坦部が広がり、北は善光寺平に接しています。標高の最高地点は大林山で1,333m、最低地点は雨宮起返下ノ割の水田353mです。

現在、市の北部には、首都圏と北陸圏を結ぶ上信越自動車道と、中央自動車道につながる長野自動車道が結ばれる更埴ジャンクションがあり、高速交通網の要の役を果たしています。昭和初期、この地域は埴科郡と更級郡の2つの郡、5町6村から成り立っていました。

昭和の大合併を契機に更埴市、戸倉町、上山田町が誕生し、1市2町は隣接する自治体として、ゴミやし尿の共同処理、常備消防や中学校の共同運営など、さまざまな業務で協力しあってきました。近年、行政のスリム化や健全化などを進める地方分権の時代になり、さらに一体化、効率的なまちづくりを推進することを目指して、平成15年9月1日、千曲市が誕生しました。

この合併に伴い、1市2町の3つの団が合併して千曲市消防団となりました。現在は火災や災害対応にあたる12の分団と式典等での演奏を担当するラッパ分団の合計13分団、総勢824名体制です。女性消防団員は15名で、このうち1名は男性団員と同様に火災や災害対応にあたっています。

## 2．Ｓ－ＫＹＴ研修開催までの経緯及び研修の様子について

千曲市消防団では、平成22年度の公務災害の発生件数が多く、消防団員の安全管理が大きな課題となっていました。このことを受けて平成23年度にＳ－ＫＹＴ研修を受講することとし、それをきっかけに、現在ではこの講習会は当市消防団の定例事業として、消防基金にご協力をいただき実施しています。

平成28年4月24日（日）に開催した研修では、総勢50名の団員（班長以上）と消防団事務担当職員が参加しました。4名の講師の指導の下、映像を織り交ぜながら、わかりやすく解説・指導していただきました。

まずは指差し呼称からでした。講師より、椅子から立ち上がる際は、椅子を机の中に押し込み、左手を腰にあて、右手で椅子を指差し、「椅子、押し込み ヨシ！」と呼称しましょうとの指導がありました。始めは少し照れ臭さもありましたが、時間が経つにつれ、慣れてきたのか、休憩に入る際にも指差し呼称を行っている団員の姿がありました。いくつか型があるタッチ・アンド・コールの中から、今回はタッチ型と手重ね型を学び、班員全員での指差し唱和を行いました。直接相手の体を触れることにより各班の連帯感が増しました。

健康ＫＹでは、班員一人ひとりの健康状態を把握することにより、公務災害の発生抑制につながることを学びました。

イラストやシートを用いた危険要因の捉え方の実習では、「土のう積み」と「消火栓鉄ぶた開け」を題材としました。直近の消防団行事で水防訓練があり、また5月から水利点検を行う関係で、より身近な実習となるよう講師の方に配慮をしていただきました。「土のう積み」を導入の題材とし、実習では「消火栓鉄ぶた開け」の題材を使用しました。普段は特に気にもせずに行っていたことが、改めて真剣に考えてみると様々な危険要因が潜んでいることを実感しました。また、時間と周囲の状況の想定は各班で異なり、雨が降っている状況を想定したものや、道路沿いでの消火栓鉄ぶたの開閉作業を想定したものもありました。各班リーダーの指揮下で、複数出された危険要因を1つに絞り、その要因をどのように排除するか、具体的かつ実効可能な対策を検討し、班としての行動目標を設定しました。最後は班ごとに行動目標とそれを設定するに至った過程を発表し合い、お互いに理解を深めることができました。

参加した団員の中には、「消防活動だけでなく、これからの仕事にも役立てることができる」との声もあり、非常に有意義な講習となりました。

## 3．おわりに

Ｓ－ＫＹＴ研修を受講してから、消防団員の安全確認に対する意識は向上しており、タッチ・アンド・コールを意気高揚のために導入している分団も出てきています。その甲斐あってか当市消防団では公務災害の発生件数は減少傾向にあります。しかし、件数としては依然多い状態が続いていますので、今後も定期的に開催していきたいと考えています。参加した団員には、自身が所属する分団または班へ戻った際に、今回学んだことを分団員・班員に伝授してもらい、公務災害発生の抑制につながれば大きな成果と考えます。

今回の研修の開催にあたり、御協力いただきました講師の皆様、消防基金のご担当者の方々には、あらためて感謝申し上げます。千曲市消防団の公務災害がゼロとなるよう、取組を進めてまいりたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

「千曲市消防団　ゼロ災でいこう　ヨシ！」

千曲市

千曲市